

## 新総合計画における地方創生の考え方について

○新総合計画は、「ひめじ創生戦略」をビルトインした計画とする。

新総合計画では、これまで「ひめじ創生戦略」で掲げてきた、人口ビジョンや五つの基本目標を、国の「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」に示された第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における新たな視点を踏まえながら、分野横断的にひめじ創生を推進していく。

### ひめじ創生戦略

**【人口ビジョン】**

人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会を維持するため、将来に与える影響や課題、今後取組む方向性を市民全体で共有するために策定するもの。

- ・目指すべき定住人口（2060年に47万人）
- ・連携による交流人口の増加

**【総合戦略】（2015～2019年度）**

総合計画等の目指す将来像を踏まえた上で、人口減少社会に対応するための施策体系を確立し、取組みの方向性を具体的に示すもの。

**○五つの基本目標**

- （1）地域経済を活性化し、安定した雇用を創生
- （2）学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生
- （3）生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生
- （4）出産、子育てにやさしい社会を創生
- （5）播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生

**【アクションプラン】**

長期的な展望から人口減少の緩和と地域の活性化に取り組むための具体的な行動計画

（参考）まち・ひと・しごと創生基本方針 2019  
（令和元年6月21日 閣議決定）

**【第2期総合戦略における新たな視点】**

- （1）地方へのひと・資金の流れを強化する
- （2）新しい時代の流れを力にする
- （3）人材を育て活かす
- （4）民間と協働する
- （5）誰もが活躍できる地域社会をつくる
- （6）地域経営の視点で取り組む

### 新総合計画

**●基本構想**

《都市ビジョン》

- ◆【目指す都市像】ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路
- ◆【人口ビジョン】
  - ・目指す2030年の定住人口51.8万人（創生戦略における2030年時点の人口）
  - ・定住人口の減少を補う交流人口・関係人口づくり
- ◆【都市構造】多核連携型都市構造の構築

**【行動指針】**

目指す都市像を実現するため、市民、企業・団体、行政それぞれが、人口減少社会において直面する様々な地域課題に対して、環境・経済・社会のバランスを重視し、限りある地域資源を最大限に活かしながら、都市の大切な要素となる「人」、「地域」、「活力」、「土台」づくりにともに取り組みます。

- ① 多様な個性が輝く「人」づくり
 

年齢、性別、国籍、障害の有無等に関係なく、市民一人ひとりを地域社会の担い手として認め合い、それぞれが持つ能力や経験を最大限に発揮しながら輝いて生きる人をともに育てます。
- ② つながり、信頼し合う「地域」づくり
 

市民、地縁団体、産官学金労言士、連携中枢都市等により連携する市町など、多様な立場や考え方を持った主体同士が互いに信頼し力を合わせあう地域をともにつくります。
- ③ 世界に飛躍する「活力」づくり
 

姫路・播磨が持つ優位性やICT・AI等の先端技術などを活かし、世界に誇れる新たなまちの活力をともに生み続けます。
- ④ 命と暮らしを支える「土台」づくり
 

未来の市民を含め、誰もが健やかに、そして快適に住み続けられるような土台（仕組みや基盤）をともにつくります。

行動指針に基づき  
分野目標の実現に取り組む

**【九つの分野目標（案）】**

○多様な主体が輝くまち【市民活動分野】	○命・暮らしの支え合い【健康福祉分野】
○持続可能な行政サービス【行財政運営分野】	○生き抜く力の育成と歴史・文化の継承【教育分野】
○環境にやさしいまち【環境分野】	○交流と魅力を支える都市基盤【都市基盤分野】
○世界に誇れる価値を生む地域産業の確立【産業分野】	○災害に強く安全で安心な都市【防災・安全安心分野】
○にぎわいと感動の創出【観光・スポーツ分野】	

**●実施計画**